



耳よりな話

平成19年1月19日 発行

(労働・社会保険ニュース)

阿部年金労務管理研究所

代表 阿部 純二 (社会保険労務士・FP)

〒194-0045 町田市南成瀬 5-25-14

Tel 090-1200-1526 Fax

042-722-1526

All rights reserved

ご挨拶

本「耳よりな話」は労働保険・社会保険に関する情報をお届けするニュースとして不定期に発信してまいりましたが、お陰さまでご好評を頂きましたので、平成19年1月より内容を一層充実させてお届けする範囲も広げ、定期的に発信することと致しました。

頻繁に改正されて複雑になってきている年金、労働・社会保険関連の法改正について、その注意点を漸次お知らせしていきたいと思っております。何かのお役に立つことができれば幸いです。

社会保険労務士として貢献できるよう更に精進努力して参りたいと思っておりますので、何卒ご指導賜りますようお願い申し上げます。

また、ご意見、ご感想をお聞かせ頂ければ誠に幸いです。
皆様の本年のご多幸をお祈り申し上げます。

なお、本ニュースは既に親しくご交誼を頂いている方々、名刺交換など知己を得ました方々にお送り致しております。

もし配信不要の場合はお手数で恐縮ですが、配信不要のご連絡をお願い致します。

国民年金は大変有利な年金制度なのです

マスコミが国民年金の欠点ばかりを煽るので、若い人を含め、多くの人がその影響を受けて保険料未納の人が増えていますが、実は大変有利な制度なのです。

その理由の一つは国庫が保険料の3分の1を負担しているからです。平成21年までには、2分の1を負担することになっています。

マスコミや若い人は79万円程度の年金を貰っても生活が出来ない、将来どうなるか分からないと言って保険料を払わない人が多くいますが、70歳、80歳の高齢になって79万円を稼ぐのは一般的には困難です。

国民年金は寝たきりになっても一生涯支給され、生活費の最小基盤になるものです。保険料未納の人達は、今後、高齢者の医療費負担も段々高額になると予想されるなか、将来きっと後悔するではないでしょうか。

もちろん、国民年金は完全な制度とは言えませんが、万が一この制度に替わる生活保護制度ができたとしても、全額を財政破綻状態の国費で賄えることなどあり得ません。

更に、注意すべきことは、「学生納付特例制度」です。

この制度は、20歳以上の学生も保険料納付義務がありますが、学生の期間は保険料納付を「猶予」しましょうと言う制度です。(あくまで「猶予」であり、免除の意味ではない)

届出をしていないと、交通事故やアルバイト中での事故に対しては補償されないことはもちろんですが、その後10年以内に「猶予」された期間の保険料を追納しないと、その期間は保険料未納期間扱いになり、将来年金額が減額になります。

* このような事実を身近な若者に是非教えてあげてください。

国民年金は正確に言えば、“保険”ではありません。

“保険”は「1人は万人のため、万人は一人のため」が基本となり、それぞれが保険料を負担して成り立つものですが、国民年金は「20歳前の未成年者が障害を被った場合でも補償され」、被保険者でなくても(保険料を負担しなくても)補償されると言った、社会保障の部分を既に担っています。

厚生年金は「厚生年金保険」が正式名称ですが、国民年金の正式名称には“保険”がつきません。それだけ有利な制度と言えます。

(例)国民年金に1年加入すると

国民年金に1年加入すると、保険料納付額は166,320円で、年金受給額は19,800円になります。年金額が約2万円増えることになります。

保険料 = 166,320円 (13,860円 × 12月)

年金額 = 19,800円 (792,100円 ÷ 40年) … 毎年、一生涯支給

保険料を166,320円納付して、65歳から19,800円の年金を受給できるなら、73歳で納付した保険料が戻る計算になります。

$166,320円 \div 19,800円 = 8年4月(73歳)$

65歳から73歳までの8年4月分は、納付保険料で年金額を賄うことになりませんが、それ以降の年金額は約2万円増えることになります。

* 以上はあくまで計算上です。国民年金は原則25年以上の保険料納付が必要です。

* 国民年金にはこの他にいろいろな特典があります。次回から順を追ってお知らせします。

振り込め詐欺”の予防にはこれが有効

振り込め詐欺は一時ほどでは無くなっているようですが、ますます巧妙になってきているようです。電話を受けた際、毅然とした対応が最も大切なのでしょうが、そう思っても引っかかるのが詐欺と言うものなのでしょう。

そこで有効な防止策の一つは、電話を留守電に設定しておくことです。

親しい友人・知人には「事情により留守電にしているが、居る時は応答するから」といっておけば理解してくれます。

または、詐欺団が活躍する10:00～14:00頃の間だけでも、留守電に設定するのも良い方法かもしれません。

適当な応答回数(4～5回)で留守電メッセージを流すようにしておき、相手が名前をキチンと名乗った時に受話器をとれば、普段どおりに会話ができます。

特に用事のない電話は、大概、留守電メッセージが流れだすと一方的に切れます。

振り込め詐欺集団が、まさか“留守電に吹き込んだり”“折り返し電話をくれ”とは言わないでしょう。

・・・しかし、短時間に高額な現金を右左^{みぎひだり}に用意できるお金持ちの被害者に対して同情する必要はないのかも・・・

その他、商品の売り込みなどの電話にも有効な方法と思います。

とくに周りの高齢者の方には、教えてあげたら如何でしょうか。

その他 ナンバーディスプレイにするのも有効な方法でしょう。



第一生命が毎年「サラリ - マン川柳コンクール」を発表しています。

傑作をご披露します。

(本件は第一生命様から転載の承認を得ております)

会議中	上司の声が	子守歌	ヒラ
赤ら顔	飲んで精算	青い顔	のんべい
社宅でも	夫の地位が	妻の地位	賢妻
川柳コンクールより	第5回第一生命サラリマン		